



2011年10月16日実施

2011年度第2回実用英語技能検定

1級1次試験

解答 & 試験講評

<ご参考>

10月16日実施の英検1級1次試験の試験問題(リスニング試験の音声・スクリプト含む)は、日本英語検定協会の公式ホームページで公開されています。

http://www.eiken.or.jp/listening/grade_1.html

2011年10月16日実施

2011年度第2回実用英語技能検定 1級1次試験 解答

CEL英語ソリューションズ作成

1 番 : 語彙・熟語 設問(1) ~ (25)

(1)	3	(2)	1	(3)	4	(4)	2	(5)	4
(6)	4	(7)	1	(8)	1	(9)	2	(10)	3
(11)	1	(12)	2	(13)	4	(14)	4	(15)	1
(16)	2	(17)	2	(18)	3	(19)	2	(20)	1
(21)	4	(22)	4	(23)	3	(24)	1	(25)	3

(1) ~ (25): 1問1点 / 計25点

2 番 : 長文空所補充 設問(26) ~ (31)

(26)	2	(27)	1	(28)	3
(29)	1	(30)	4	(31)	2

(26) ~ (31): 1問1点 / 計6点

3 番 : 長文内容一致 設問(32) ~ (41)

(32)	3	(33)	3	(34)	4		
(35)	2	(36)	4	(37)	3		
(38)	3	(39)	1	(40)	4	(41)	3

(32) ~ (41): 1問2点 / 計20点

4 番 : 英論文作成

In modern society it is generally thought that one must work hard. The goal is to earn money to buy the things that we want. But we have to ask ourselves if too much emphasis is put on work. My answer to this question is yes.

In a capitalist society we are taught to work hard, earn money and possibly become rich and successful. This model sounds appealing, but it doesn't guarantee happiness. And it can cause unhappiness because hard working people often sacrifice time with their families. Furthermore, people who become obsessed with gaining material things become selfish or egotistical. Rather than work, the emphasis should be on our family, friends and leisure time.

Those of us who have regular employment have to follow various rules and schedules created by our employers. We know that this business culture was created mostly to benefit the employers, not us. Usually this arrangement works well, but sometimes it doesn't. The people, the society and the government should ensure that people aren't treated unfairly or sacrificed in the name of work.

Work is a necessity, and sometimes it brings great reward and satisfaction. But there are other things in life that are more important.

(201 words)

28 点

リスニングテスト

設問 No. 1 ~ No.27 (Part 1 ~ Part 4)

No. 1	4	No. 2	1	No. 3	2	No. 4	3	No. 5	1
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

No. 6	4	No. 7	3	No. 8	4	No. 9	1	No.10	1
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

No.11	3	No.12	1	No.13	3	No.14	2	No.15	4
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

No.16	2	No.17	1	No.18	3	No.19	2	No.20	4
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

No. 1 ~ No. 20 : 1 問 1 点 / 計 20 点

No.21	2	No.22	1	No.23	3	No.24	3	No.25	4
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

No.26	4	No.27	3
-------	---	-------	---

No. 21 ~ No. 27 : 1 問 2 点 / 計 14 点

2011 年度第 2 回実用英語技能検定 1 級 1 次試験 試験講評

本試験ご受験大変お疲れさまでした。試験講評を参考にしつつ、2011年度第2回英検1級1次試験問題を振り返っていただきたいと思います。

以下、大問ごとに解説してまいります。

[1] 語彙問題

今回の語彙問題も特に出題傾向に変化はなく、新聞・雑誌・テレビニュースなどで頻繁に使用されている、実用的な語彙が出題されていました。正式な状況で使用される語彙から日常会話などで使用される語彙まで、今まで以上に、より幅広い分野からの出題でした。特に正解の語彙は、使用頻度が高いものばかりでした。

(1)の 3 culprit は、「犯人」という意味以外に「～の原因」という意味でも頻繁に使われます。(7)の intervene in a dispute は「紛争の調停をする」という意味で、新聞の政治・社会欄で頻繁に見かけます。(16)の 3 forlorn は Michael J. Fox 主演映画“*For love or money*(バラ色の選択)”の中で3回も出てきました。(19)の 1 incubate (細菌などを培養する)は科学関連の記事に、(24)の 2 bail out(救済する)は経済ニュースなどでよく見聞きします。(21)の truce は、call a truce(休戦を発表する)という collocation(連語)で多く使われます。phrasal verbは使用される頻度が高いものが出題されていますので、少なくとも2題は正解して欲しいです。

CELの模擬試験では過去本試験で出題された語彙の膨大なデータベースを元に語彙問題を作成していますので、本試験には、毎回、CELの模擬試験の語彙問題から数多くの語彙が出題されます。試験直前の2011年の夏期コースの模擬試験だけを見ても、正解の選択肢も含めて、(1) 1 clout、(2) 4 scour、(3) 1 desolate、2 vociferous、4 entice、(4) 4 argument、(5) 1 exude、4 dispel、(7) 2 resilient、4 intervene(interventionで出題)、(9) 2 mortified(mortifyで出題)、(12) 1 venerate、2 negate(negationで出題)、(15) 1 culmination(culminateで出題)、3 incarceration、4 inundation(inundateで出題)、(18) 1 emulate、2 improvise、3 slouch、(19) 1 incubate、(24) 2 bail out などが出題されていました。春期コースで出題した語彙も含めると、CELの模擬試験でかなりの問題数をカバーしていることとなります。その他にも、模擬試験の長文読解問題やリスニング問題を

解いていただいた際に、重要単語として覚えておくよう指摘した語彙が数多く出題されていました。

語彙問題は18問正解して、18点を獲得して下さい。

1 番目標得点：18点(25点満点)

[2] 空所補充問題

1 題目：Emotions at Work

“emotional intelligence(感情的知性、心の知能指数)”がテーマで、「仕事場において自分の感情を素直に表現し、仕事の効率化を図る」という内容です。emotional intelligenceについて知識がなくても、文頭部分に person’s ability to be aware of and understand their emotions と説明されていますので、理解に問題はなかったと思います。比較的読み易く設問も解き易い問題でした。

(26)は、次の文章の open displays of emotions have indeed become commonplace がkey pointとなっています。

少し迷うとしたら、(27)でしょうか。ここは、(27)の後の部分の anger についての説明である、it provided a significant advantage to humans in the struggle to survive の箇所が大きなヒントとなっていて、正解は選択肢1のan evolutionary originとなります。

(28)は、前文の言い換えを見抜いていただければ正解を選ぶことができましたでしょう。(28)の前で「女性は仕事場で泣く他の女性を不安定で弱いと見なす」とあり、(28)の含まれる文章は In short, で始まっていますので、前文の言い換え、まとめとなっています。

1 題目は確実に2問を正解して、2点を獲得して欲しいです。

2 題目：Earth’s Unexplored Frontier

地質学の内容ですが、専門知識がなくても全く問題なく英文を読むことができたと思います。「地球の最外層のcrustに穴をあけその下にあるmantleを採取し、地球についてさらに研究を深めよう」という内容です。こういった英文では簡単な図を書いてみるのもいい方法です。小さな丸を描いてcoreとし、その周りに一回り大きな円を描いてmantle、そしてもう1つ外側に描いた円をcrustとして図にしてみるといいでしょう。

(29)は、正解を選ぶためには空所の後の長いスパンを読む必要がありました。(29)の後の obtain samples の samples は mantle の samples であることを理解して、mantle が手に入れば「地球の表面の成り立ちや plate tectonics の理解に大いに役立つ。しかし過去においては volcanic eruptions によって、あるいは ocean floor から少量取ることが出来ただけで、mantle の詳細を知ることが出来なかった。」という第1段落の内容をしっかりと理解していただければ、正解の選択肢 1 have long wanted を選ぶことが出来たはずです。

(30)も、(29)同様に長いスパンを読む必要がありました。(30)のあたりは drilling についての内容で、この前のパラグラフからの流れで、「地球について研究するには mantle が大量に必要である。そのためには drilling して手に入れるしかない。その drilling の最適な場所というのは、seabed (oceanic crust) と考えられる。陸地より薄く drilling に適していて、さらに現代の技術によって crust の先 (mantle) までたどり着くことが可能になった。」と続いていますので、(30)には選択肢 4 is the way to achieve success が入ります。

(31)は、CEL の模擬試験でも数多く練習していただきました、『逆接節の接続詞』の後の空所問題です。(31)の直前の内容「一か所から samples を採取しても異なる成分からなる mantle についてあまり知ることは出来ないだろう。」という批判に対して、however とあって(31)が続き、その後で「 mantle までたどり着くことの実現こそが、本当の成功なのである。」と述べられていますので、「 drilling を批判している意見の反対 」ということで、選択肢 2 this is beside the point が正解となります。

2 題目も 2 問は正解して、2 点を獲得して下さい。

2 番目標得点：4 点（6 点満点）

[3] 内容一致問題

1 題目：The Chagos Islands and the Cold War

フランス、イギリス、アメリカといった大国に翻弄されてきた、インド洋にある the Chagos Islands についてです。「冷戦時代に、アメリカは the Chagos Islands 最大の Diego Garcia 島を軍事戦略上の要衝と位置付けた。the Chagos Islands を支配していたイギリス政府は、1962年に、島全体をアメリカに貸与することに同意した。この取引を正当化するため、Diego Garcia 島の住人は強制的に the Seychelles や Mauritius へ移住させられた。1971年、アメリカは Diego

Garcia島に軍事基地を建設し、インド洋にあるアメリカ軍最大の軍事拠点として、湾岸戦争やアフガニスタン攻撃、イラク戦争の際の出撃に使用した。国を追われた島民は、アメリカの軍事的戦略の犠牲者である。」といった内容を整理しながら読んでいただければ、特に問題なく正解を選ぶことができたと思います。

(32)の答えにあたる箇所は、第3段落のL3～L6の部分です。本文の islanders were classified as migrant workers without permanent residency or indigenous status が、正解の選択肢3では the islanders were not permanent residents and had no right to remain on the islands since they were there specifically to work と言い換えられています。こうした言い換えは英検1級では頻繁に出てきます。CELの模擬試験で毎回のよう訓練していただきましたので、受講生の皆様はこういった言い換えをしっかりと見抜いて正解を選んでいただけたことと思います。

(33)は John Pilger のコメントについての質問で、本文では第3段落の L9 Australian journalist からこの段落最後までこの箇所をまとめた内容の、選択肢3が正解です。

(34)は作者がもっとも述べたかったことで、問題文の最後の方に記述されています「イギリス政府からわずかばかりの金銭的補償を受けたものの島を奪われてしまった島民は、アメリカが世界最大の軍事力を強化するための犠牲になったのである。」という内容に近い、選択肢4が正解です。

1題目は2問は確実に正解して、4点を獲得して下さい。

2 題目 : Corporate Personhood

「法律の改正により、企業にも個人と同じ権利を認めることになったことに関する論争」についてで、大変読み易く理解し易い文章です。3問とも、本文から該当部分を探しやすい設問でした。

(35)の the 14th Amendment に関する議論はこの問題文のテーマで、第1段落の L8 の This has been because からこの段落の最後までをまとめた記述の選択肢2が正解です。

(36)は設問の key word が明確です。第2段落 L5 からの On January 21st, ... by the 1st Amendment of the constitution. の言い換えを見抜いていただければ、選択肢4が選べます。

(37)は、問題文の正解にあたる箇所が正解の選択肢ではかなり言い換えられていましたので、慎重に読む必要がありました。「Nancy Priceさんが最高裁判所の判決に異議を唱える根拠となったものは？」という設問に対する本

文の該当部分は、第3段落L8の At the same time, ... imprisonment.「同時に、一般の市民であれば、犯罪を犯せば禁固刑に処せられるが、企業はそれを免れることができるのである。」であり、この内容をまとめた選択肢3が本文に一番近い記述となっています。

2題目は3問とも正解して、6点を獲得して下さい。

3 題目 : Guilty Until Proven Innocent?

「冤罪とDNA鑑定」についての内容です。「DNA鑑定は100% 確実とは言えないが、従来の捜査技術と比較して、冤罪を晴らすための証拠として信頼できる。冤罪につながる問題としては、the unreliability of witness identifications、the use of faulty forensic techniques、false confessionsの3点が挙げられる。アメリカの34州で現在も実施されている死刑によって冤罪による殺人が起こるのを防ぐため、もっとDNA鑑定を行うべきである。」という内容をまず捉えていただくことが大切です。800語の問題文(今回は826 words)は、読む分量が多くすべてretentionするのは難しいので、まずは全体をskimmingしていただきたいの内容をつかんでおいて、その後設問に沿って本文に戻って確かめながら正解を選んでいくやり方が良いでしょう。

(38)の“the Innocent Project”の過去20年間の活動については、第3段落と第4段落に記述されていました。長いスパンを読む必要がありましたが、彼らの主な活動は「DNA鑑定の手法を使って冤罪を晴らすことと、警察による容疑者の起訴を決定する方法の改善を求めること」ということですので、正解は、「警察に対し、冤罪を防ぐように求めた」という内容の選択肢3が、本文に最も近い記述です。

(39)は解き易い問題です。冤罪につながる問題の一つである the unreliability of witness identifications に関する設問で、key partは第6段落のL5 ~ L10の Police conducting ... that person. です。これらを言い換えた選択肢1が正解です。

(40)は冤罪につながる2つ目の問題(faulty forensic techniques)に関連する設問で、「従来行われてきた犯罪捜査の難点について」です。解答のkey partは、第7段落のL4 ~ L16の With the exception ... tested. です。この内容をまとめているのが正解の選択肢4です。

(41)は最後のパラグラフの要点で、この問題文のテーマでもあります。本文の著者が一番言いたかったことは「犯罪捜査や起訴の過程において誤った方法が使われ、手遅れ(冤罪による死刑執行)となってしまうのを防ぐために、DNA鑑定を増やして再調査を行い、冤罪を防がなければならない。」という

タイマーとして働くことを選ぶ。」という意見も可能です。

Yes/NoタイプのEssayに正解、不正解はないので、どちらの立場を取っても、正しい英文で論理的に書くことが出来れば高得点に結び付きます。P3にCEL作成のModel Answer(Yesの立場)を載せてありますので、参考になさってください。

CELの模擬試験コースでは、毎回の模擬試験でEssayを1本ずつ書いていただき、Native Staffが採点しcommentsを付けてお返ししていますので、その特訓の成果を今回の本試験のEssay Writingでも十分活かしていただけたものと信じております。

4番目標得点：18点(28点満点)

[5] Listening Part

今回のリスニング問題は、前回の2011年度第1回と比較して、ほぼ同じ難易度です。Part 1、Part 2、Part 4は前回よりもやや難易度が下がりましたが、Part 3の難易度が上がりましたので、全体としては前回と同じレベルとなりました。今回もナレーターはKimberly Forsytheさんを始め、CELの模擬試験でも馴染みのある声の方が含まれていましたので、普段通りに落ち着いて聴くことが出来たと思います。

Part 1 Dialog:

一般的な大人の友人どうしの会話、officeでの部下と上司の会話、学生どうしの会話、夫婦の会話、そして家族間の会話、といった内容で、従来通りバラエティーに富んだ問題でした。今回のPart 1の問題は、前回の第1回試験のPart 1と比較して聴き易かったのではないかと思います。No. 10の3人の会話は、女性2人、男性1人の組み合わせでした。全体的にクリアーに話されていましたので、高得点を期待します。

No.3はofficeでの部下と上司の会話で、上司が部下に昇進を告げています。この問題は、言い換えがポイントです。上司が女性の部下にregional sales director positionをオファーし、「出張が増えるかもしれない」と言ったのに対して、女性は「子供はまだ小さいし、single motherなので」と断ろうとしましたが、上司が「なるべくvideo conferencing によってcut down on the tripsするか

ら」と説得していました。設問は「どうやって男性は問題を解決しようとしていますか?」ですので、正解は、このcut down on the tripsを言い換えた選択肢2 By reducing the woman's need to travel. になります。

No. 7は、やや解き難かったかもしれませんが。選択肢の中に会話で話されていた語彙やフレーズがなく、全体の話の流れをつかんで内容を聴き取らなければなりません。子供を持つ両親が、「子供の学校の自動販売機が甘い清涼飲料水の販売をやめ、フルーツジュースやミルクだけを販売する」という件について話していますが、夫が「そうすると清涼飲料水メーカーは嬉しくないだろう。」と言ったのに対して、妻が「清涼飲料水メーカーはこうした動きにむしろ積極的で、イメージアップをはかりたいのよ。」と述べていましたので、「女性は清涼飲料水メーカーについてどのような考えをほのめかして(imply)いますか?」という設問の答えは、選択肢3 They are not really concerned with children's health. となります。正解の内容を妻が明確に言っていたという訳ではないので、他の選択肢と見比べて、消去法を使っての選択になったかも知れません。トリッキーな出題で、出来なくても仕方ないでしょう。

No. 10 今回の3人で話される問題は、前回と同じ家族3人(両親と娘)でした。3人とも比較的ゆっくりと明瞭に話していましたので、聴き取り易かったと思います。「高校生の娘が、学校の成績がアップしたので約束通り車を買って欲しい、しかも新車が欲しい、とねだったのに対して、父親が、家から離れた大学へ進学するかわりに地元の専門学校へ行くというのなら買ってあげようと言いましたが、大学へ進みたい娘はそれなら中古車でいいと妥協した。」という話です。大変理解しやすい内容でしたので、正解して欲しかった問題です。

Part 1は最低でも7問正解して、7点を獲得して下さい。

Part 2 Passage:

直近の問題と比較してほぼ同じ難易度で、全体として大変聴き取り易く、内容も分かり易いですので、高得点を期待します。今回も、歴史的な事件、ペットフード、赤ん坊の親のうつ病、渡り鳥、経済関連など、様々な分野から出題されていました。

(A) William Bligh

イギリス海軍の士官William Blighがキャプテンを務める軍艦Bountyで起きた、彼の指揮に反発して行われた反乱の話です。「William Blighはcruel tyrantであったと非難される一方、体罰はlast resortとして使われただけだったという証言もあって、情報に食い違いはあるものの、彼は、暴君であるというイメージの犠牲者であった。」という内容です。mutiny(権力や体制、特に海員や兵士などによる上官に対する反抗)、mutineers(反逆者、上官反抗者)がkey wordsとなりましたが、単語の意味を知らなくても、全体の意味を捉えていただければ解くことができる設問でした。1問は正解して下さい。

(B) Ethical Pets

ペットフードの話です。meat-based pet foodとvegetarian pet foodの違い、それぞれの良い点と悪い点、さらに、ペットフードの表示が人間の食べ物ほど厳密でない点、を聴き取ることができれば難しくはなかったでしょう。2問とも正解出来る問題です。

(C) The Perils of Parenting

子供の誕生と共に生じる親のdepressionについてで、KimberlyさんのハスキーボイスはCELの模擬試験でもお馴染みですが、大変聴き易かったと思います。母親と父親の症状の類似点と違いを、順番に整理しながら聴くことが出来ればOKです。設問は父親の症状に関してで、父親に対する世間の期待の重さに押しつぶされてしまう可能性や、depressionの症状がbecome angry and irritable, initiate more conflicts with others, and spend less time at homeとなって現れることを聴き取ることが出来れば、問題なく正解の選択肢2 They display greater aggression toward people. を選ぶことが出来たでしょう。

(D) Northward Bound

渡り鳥についての話題です。なぜ鳥が迷うことなく移動できるのかについて、また、出発する時期の謎についての研究結果が述べられています。「確かな証拠や科学的証明はないものの、地球のmagnetic fieldに導かれ、暖かい季節を選んで移動しているようである。」というポイントを聴き取ることができれば、両問ともに正解の選択肢を選ぶことが出来たと思います。

(E) Microcredit

“Microcredit”という小額の融資についての内容です。バングラデシュ人の経済学者であるMuhammad Yunusが発案したもので、十分な資金のない起業家や、貧困状態にあり銀行などから融資を受けられない人々を対象とした低金利の融資を行なって、poor communitiesの経済の活性化を図ろうという目的で作られました。しかし徐々に、こうした融資が大きな利益を生むとして多くのfinancial institutionsがMicrocreditを始めるようになり、less ethicalなloan sharks (高利貸し)も参入して徐々に利子が高額となった結果、返済出来ないことを理由に自殺する人が増えたという状況も見られるようになり、今では問題となっている、という内容です。明快な展開の内容で、2問とも正解出来る問題です。

Part 2は10問中8問正解して、8点獲得して欲しいです。

Part 3 Real-Life:

Part3は前回より難易度がやや上がりました。Situationを含めて情報量が多く、質問ポイントとなりそうなことがいくつも述べられていましたので、集中して全部をしっかりと聴く必要がありました。

(F) 留守番電話のメッセージ

medical insuranceに関する話です。5問の中では一番解き易い問題でした。設問の「まず一番最初にすべきこと」はHowever,に続いて、「もし健康上の問題があるなら、すぐにmedical recordsをfaxするかmailで送ってください。最適な保険を選ぶ際に影響を及ぼす可能性がありますので。」と述べられていましたので、正解は選択肢 2 Send your medical records to the U.S. となります。Situationのdiabetes and require frequent medical careとの関連性と、right awayがポイントでした。確実に正解して下さい。

(G) アナウンス

大学2年生が履修科目を選ぶ話で、やや複雑な内容でした。まず、Situationの、大学2年生ですすでにComparative Politicsのcourseを終了している、という点を踏まえて聴いていきますが、「Causes and Prevention of Warは人気のコースなので今年卒業予定者を優先に登録します。ですから、それ以外の学生は

a backup (course) を考えておいてください。Causes and Prevention of Warを受講できるチャンスは小さいでしょう。」と述べられていました。最後のkey pointとなる箇所が比較的速く話されていたので、正解の選択肢1 Find a backup course. を選ぶのは難しかったかもしれません。

(H) 留守番電話のメッセージ

Part 3の中で一番難しい問題でした。こもった感じの声でやや早口、音もかなり繋がっていました(linkingが頻繁に行われていた)ので、難易度の高い問題となりました。家を売りに出すためにhandymanにチェックと修理をしてもらった後の話で、handymanは「new posts(支柱)をinstallすることでthat headache(Situationのfuture trouble。家を売るとしたら、不動産鑑定人にpermitsの被害を指摘される)を避けることが出来るだろう」とアドバイスしていました。この部分を聴き取ることが出来れば、これを言い換えた選択肢3 Replace the damaged wood. を選ぶことが出来ます。この問題は正解率が低いと予想されますので、正解出来なくても心配いりません。

(I) 案内

この問題もSituationの細かな情報をしっかり頭に入れて聴く必要がありました。一番重要な条件は時間です。「今3:10 p.m. で、5 p.m.には美術館を出なければならない」ということで、選択肢を見ながら簡単なメモを残し、消去法で選ばれるとよかったですと思います。「art majorの学生によるprivate toursが、少額の料金で見学者の状況に応じた案内を行なっていて、所要時間は見学者の希望に従う」というのが最も条件に合いますので、正解は選択肢3 Pay for a tour by a student. です。

(J) 会話

解き易い問題でした。現在temp (temporary) agencyからもらっているsalaryを減らすことなく正社員になるには「bookkeepingなどの資格を取るといいでしょう。」とアドバイスされていました。聴き易い部分からの出題でしたので、確実に正解の選択肢4 Improve your professional qualifications. を選ぶことが出来たでしょう。

Part 3は5問中3問正解で、6点を獲得して下さい。

Part 4 Interview:

今回のinterviewのguest speakerは、a voice-talent, radio personality, and acting president of a jewelry companyのValerie Koehnさんです。NHKラジオ講座などでお馴染の方も多いのではないのでしょうか。ナレーターをしていらっしゃる方ですので、interviewerのKimberlyさん共々、発音が大変聞き易く、話も分かり易い内容でした。

今回の聞き取りポイントは、media and entertainment industry in Japanでの経験について。現在従事しているacting president of a jewelry companyの仕事の内容とは。acting president of a jewelry companyとして困難なことは。これらを順番に聞き取っていただければ、両問ともに正解を選ぶのに問題なかったと思います。選択肢もstraightforwardでした。

Part 4は2問ともに正解して、4点獲得して欲しいです。

リスニング目標得点：25点(34点満点)

[6]合格ライン

全部をまとめますと、[1] 18点、[2] 4点、[3] 16点、[4] 18点、Listening 25点で合計81点になり、今回の合格最低点と一致しますが、これを3～5点上回るくらいの得点獲得を期待しております。

皆様からのうれしいご報告をお待ちしております。

2011年10月25日

英検1級1次対策模擬試験コース担当
田中美智子



〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 サンエスビル 2F

TEL 03-5291-1820 FAX 03-5291-1821

<http://www.cel-eigo.com>